

Googleや検索エンジンからでは、
学術やビジネスユースに使える情報は得られない

図書館サポートフォーラムシリーズ

プロ司書の検索術

「本当に欲しかった情報」のを見つけ方

入矢 玲子 著 四六判・250頁 定価(本体2,300円+税) ISBN978-4-8169-2851-2 2020年10月刊行

図書館利用により、IT時代の “情報検索技術”を身につける

図書館のOPAC検索やアルゴリズムの知識によって、学術情報の基本的なありかを知り、そこへアクセスするための極意をプロの図書館司書が伝授します。

情報取得のためのさまざまな手順、各種レファレンスツールについてなど、情報検索技術が身に付く方法をわかりやすく詳述。

検索時代における図書館の機能と図書館員の役割もわかります。

【著者プロフィール】 入矢玲子 いりや・れいこ

1978年、大阪外国語大学(現大阪大学)イスパニア語学科卒。

同年から中央大学職員として図書館に勤務。同大学図書館事務部レファレンス・情報リテラシー担当副部長を務める。

1991年～92年、米国イリノイ大学モートンソンセンター日本人初フェローとして派遣され、同大学商学部客員研究員、日本関係レファレンスサービスなどを担当。1996年～2004年、日本図書館協会「日本の参考図書」編纂委員。

著書に『日本の参考図書』(共著、日本図書館協会、2002年)、論文に「『図書館文化』の継承を」(朝日新聞2006年2月15日)、エッセイに「ある司書の旧姓使用奮闘記」(中央評論300号、2017年9月)などがある。

目次

まえがき 探すチカラを基礎から鍛える

第1章 こんな時代に情報のプロがなぜ必要? 検索概説

1 司書は深層ウェブに精通している / 2 司書は検索のルートを豊富に知っている / 3 司書は最も親切な助言者である / 4 司書の手もとには最新が常にある

第2章 基本はあらゆる本を探せること 本の検索

1 本の整理法を知ると頭が整理されてくる / 2 定番サイトだけで本の大半は見つかる / 3 行き詰まったら何を変えるか / 4 洋書探しを滞りなく進める

第3章 新聞・雑誌を発想の鍵の束に使う 記事と論文の検索

1 新聞検索で関心の限界を突破する / 2 今ここという枠を雑誌で取り扱う / 3 海外雑誌を着想の引き出しに加える

第4章 不慣れな分野を効率よく調べる 領域別の検索

1 武器になる統計を探す / 2 人物情報で見識を高める / 3 企業の実像を細大もろさずつかむ / 4 知識ゼロからの法情報検索 / 5 わかりやすくして質の高い医学情報を探す

第5章 信頼できる情報だけを選びすぎる 信頼性の向上

1 学術情報は無愛想に見えても信用できる盟友 / 2 信じるために疑いの目で見ると / 3 確かな入り口を事典から見つける / 4 オリジナルな正しさを発信する

第6章 いいキーワードを次々と発想する 検索の質の向上

1 ひらめきの手順を身につける / 2 キーワードをヨコ、タテ、ナナメに変えてみる / 3 約束事を順守して効率を上げる

第7章 世界の視点で受信と発信を見直す 情報学ガイド

1 日本は「情報貧国」へと失速しているのか / 2 図書館をビジネス化していいのか / 3 プチ図書館史が教える大切なこと / 4 図書館はイノベーション基地になっていく / 5 情報リテラシーは人生をアップデートする

あとがき

情報検索・図書館をもっと知りたい人のために

引用・参照文献

索引

2020.9

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名

注文書

プロ司書の検索術

「本当に欲しかった情報」のを見つけ方

定価(本体2,300円+税) ISBN978-4-8169-2851-2

冊



9784816928512

2 人物情報で見識を高める

▼WhoPlusと日経テレコンが二大サイト

「A氏の業績を知りたい」「Bについて研究している人を探したい」といった人物調査も、レファレンスカウンターに多く寄せられる依頼です。「ヘッドハンティング候補者の情報を」「C社営業部長の略歴は？」といったビジネス上の要請もあります。

人物をデータだけから見抜くことはできませんが、会った印象で決めつけるのも危ないものです。人物情報をエントランスにして理解を徐々に深めていくのが常道であり、人物眼や見識を高めることもできます。

代表的なデータベースは二つあります。「人物を探すWhoPlus」と、日経テレコンの「人事検索」です。ともに有料なので図書館で調べるのがリーズナブルでしょう。

【人物を探すWhoPlus】

日本最大級といえる人物情報データベースです。歴史上の人物から現在活躍中の人物までが幅広く収録され、日本人だけでなく外国人も調べられます。職業、活動分野、肩書き、あるいは出身地や出身校などを組み合わせて検索したり、著作物や執筆記事をキーワードにリサーチしたりすることも可能です。

人物・文献情報データベースWHOとレファレンスツール『人物レファレンス事典』が搭載されており、プロフィールだけでなく、その人物について書かれた本や記事の情報（人物文献）を効率よく探すこともできます。運営は日外アソシエーツです。

【日経テレコン「人事検索」】

対象を現役のビジネスパーソンや政治家に絞った人物情報データベースです。全国の上場企業や未上場有力企業の役員クラスの情報、中央官庁、政府関係機関、審議会、経済・業界団体、都道府県の幹部職員、国会議員、県議会議員などの情報が収録されています。

日本経済新聞社が運営しているので、多くの企業における最新の人事異動情報を調べられるのも強みです。業種、本社所在地、出身大学などを組み合わせて、よりの確な検索をすることもできます。

図7 WhoPlusと日経テレコン「人事検索」のスタート画面



日経テレコン「人事検索」



崎

四六判・230頁 定価(本体2,200円+税)
ISBN978-4-8169-2540-5 2015.5刊